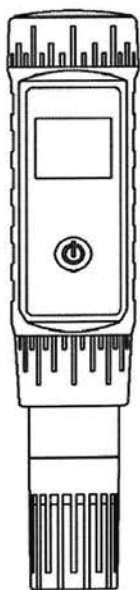


# DIGITAL pH PEN TESTER

## デジタルpHペン テスタ

### 取扱説明書



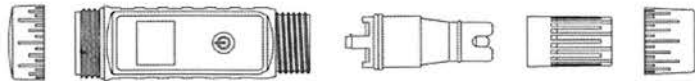
pHペン テスタをご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、いつでもお読みいただけるよう本書を大切に保管してください。

-- page 1 --

### クリーニングとメンテナンス

- 1) 使用前と使用後は測定用電極を純水(蒸留水)で洗浄してください。pHペンテスタを使っていないときや保存するときには、⑥の電極部キャップを必ず閉めておいてください。これは、塩化カリウム電極保存液(飽和KCl (3M))によって適切な水分を電極に与えるために必要です。保存液は、キャップ内部のスポンジに含浸されています。
- 2) 液晶表示が薄くなり測定値が読み取りにくくなったときには、⑨の4個の電池を取り替えてください。④の電池ボックスキャップを外し、LR44 (1.5V) ボタン型電池を4個とも新しいものに交換し、元通りに電池ボックスキャップをセットしてください。
- 3) 測定精度を維持するために、1~2週間ごとのpH測定用電極の校正をお勧めします。


### pHペンテスタの組立図




### pH電極の交換方法

- 1) pH電極の寿命は使用開始から約6~8ヶ月です。
- 2) pHペンテスタ専用の③測定用電極PE-05Rを交換します。
- 3) ⑤の電極固定用キャップを取り外し、本体から古い電極を引き抜きます。挿入方向に注意しながら新しい電極をセットします。固定用キャップを元通りにしめてください。
- 4) pHペンテスタを使用する際には、正しい測定結果が得られるようにpH測定用電極の校正をおこなってください。

### ご注意

 pHペン テスタの交換用電極としてPE-05R以外のものは使用できません。

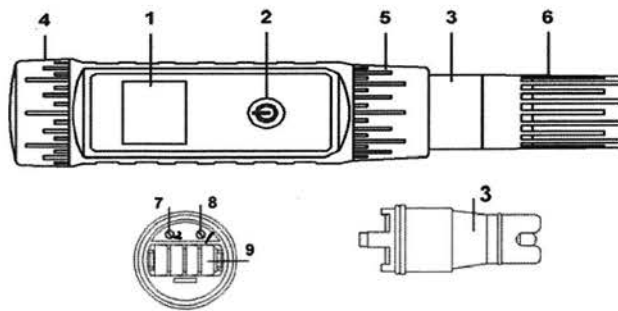
 pHペン テスタは、電子機器や電気製品の近くで使用しないでください。

-- page 3 --

### 各部の名称

### 参考資料

- ①液晶表示器
- ②電源スイッチ
- ③測定用電極PE-05R(交換可能)
- ④電池ボックスキャップ(ネジ式)
- ⑤電極固定用キャップ(ネジ式)



- ⑥電極部キャップ
- ⑦pH4校正部(多回転型半固定ボリューム) [2]
- ⑧pH7校正部(多回転型半固定ボリューム) [1]
- ⑨LR44 (1.5V) ボタン型電池4個

### 使用方法(校正方法)

- 1) 電極部カバーを外し、純水(蒸留水)で電極の先端部(ガラスの球)をすすいでください。電源スイッチを押します。pH7.00の校正液に電極を浸したまま、数秒間静置してください。校正液に浸水させたまま、「pH7校正部」を付属の小型マイナスドライバで表示がちょうど「7.0」になるように調節します。
- 2) 電極の先端部を校正液からひきあげ、純水(蒸留水)で洗浄します。
- 3) pH4.00の校正液に電極を浸したまま、数秒間静置してください。校正液に浸水させたまま、「pH4校正部」を付属の小型マイナスドライバで表示がちょうど「4.0」になるよう調節します。(pH10.00の校正液を使用することができません。この場合には、表示がちょうど「10.0」になるように調節します。)
- 4) 電極の先端部を校正液からひきあげ、純水(蒸留水)で洗浄します。(測定用電極を新しいものに交換した後は、上記1)~3)の手順で必ず校正してください。)
- 5) 測定対象の水溶液に電極を浸し、表示が安定するまで待ちます。

-- page 2 --

### 一般仕様

防水等級: IP67

測定範囲: 0~14pH

分解能: 0.1pH

精度(25°C): ±0.1pH(校正後)

校正部: pH7(ゼロ点校正)、pH4/pH10(スケール・スロープ)

表示部: 13mm大型液晶表示器

使用温度範囲: 0~50°C (32~122° F)

使用電池: LR44 (1.5V) ボタン型電池4個

オートパワーオフ機能: 約30分後にオフ

サイズ: 170x35x35mm (7.7x1.6x1.6 inch)

質量: 86g (0.19 Lbs)

標準付属品: 取扱説明書1部、調整用ドライバ1本、目盛付カップ2個

### 使用分野(例)

水族館、水産養殖、魚卵孵化、  
水耕栽培、スイミングプール、  
研究施設、環境保護、教育機関、等

### 校正時のご注意

pH7とpH4の校正液による校正時には、付属の目盛付カップをご使用ください。



この取扱説明書(日本語版)は、デジタルpHペン テスタを活用していただくことを目的に、参考資料として秋月電子通商が翻訳いたしました。

この日本語参考資料に関するお問い合わせは、秋月電子通商までお願いいたします。  
2012年8月 株式会社秋月電子通商  
AKIZUKI DENSHI TSUSHO CO.,LTD.  
<http://akizukidenshi.com>

-- page 4 --